

英文（査読あり）

1. Hiroshi Ishiguro, Shigehira Saji, Shogo Nomura, Sunao Tanaka, Takayuki Ueno, Masahide Onoue, Hiroji Iwata, Takeharu Yamanaka, Yasutsuna Sasaki and Masakazu Toi
A phase I/II pharmacokinetics/pharmacodynamics study of irinotecan combined with S-1 for recurrent/metastatic breast cancer in patients with selected UGT1A1 genotypes (the JBCRG-M01 study)
Cancer Medicine 6(12):2909-2917 (2017).
2. Yoshihiko Kimura, Yugo Chisaki, Tomohiko Saki, Chikako Matsumura, Hideyuki Motohashi, Mssahide Onoue, Yoshitaka Yano
Prediction of apparent oral clearance of small-molecule inhibitors in pediatric patients.
Journal of Pharmaceutical Sciences 107(3) 949-956 (2018).
3. Daiki Hira, Asami Suzuki, Yusuke Kono, Kosuke Shimokawa, Serika Matsuoka, Ken-yuh Hasumoto, Hiroyuki Kawahara, Masahide Onoue, Takuya Fujita, Tomonobu Okano and Mikio Kakumoto
Pharmaceutical stability of colloidal saccharated iron oxide injection in normal Saline
Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences 4:21(2018)
4. Toshikazu Ito, Kazuya Uenoyama, Kazuhiro Kobayashi, Mikio Kakumoto, Hiroshi Mizumoto, Toshiya Katsura, Masahide Onoue
Administration of zinc to preterm infants with hypozincemia does not reduce serum copper concentrations in most cases: A single -center retrospective observational study
Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences 7:46
<https://doi.org/10.1186/s40780-021-00229-4>
5. Masayuki Maeda, Takefumi Miyake, Ryo Inose, Satoru Ueda, Ken-ichi, Matsugi, Yuichi Muraki and Takashi Kitahara
Bibliometric analysis of pharmacist' s research on antimicrobial stewardship in Japan: an interrupted time series analysis on the implementation of the certification system for infection control pharmacists
Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences volume 7, Article number: 38 (2021)
6. Toshikazu Ito, Kazuya Uenoyama, Kazuhiro Kobayashi, Mikio Kakumoto, Hiroshi Mizumoto, Toshiya Katsura, and Masahide Onoue
Decreased serum copper concentrations by zinc administration in preterm infants

with hypozincemia are associated with a lower postmenstrual age: A single-center retrospective observational study

YAKUGAKU ZASSHI 142(9):999–1004 (2022)

7. Kazuhiro Kobayashi, Atsuko Hata, Waki Imoto, Shigeki Kakuno, Wataru Shibata, Koichi Yamada, Hiroshi Kawaguchi, Norihiro Sakurai, Kiyotaka Nakaie, Yukari Nakatsuka, Toshikazu Ito, Kazuya Uenoyama, Tamotsu Takahashi, Satoru Ueda, Toshiro Katayama, Masahide Onoue, Hiroshi Kakeya
Clinical Evaluation of Third-Generation Cephalosporins as Definitive Therapy for Enterobacter spp. and Klebsiella aerogenes Bacteremia
Internal Medicine
8. Sakaguchi T, Kajiya T, Miyake M, Katayama T.
Fentanyl titration for cancer pain: continuous subcutaneous injection and a once-daily transdermal patch – case series.
2022.05 BMJ Support Palliat Care.
Online ahead of print. 10.1136/bmjspcare-2022-003720.
9. Sakaguchi T, Kajiya T, Miyake M, Katayama T.
Tramadol for moderate cancer pain: a reappraisal.
2022.08 BMJ Support Palliat Care. Online ahead of print.
10.1136/spcare-2022-003819
Released: November 16, 2022; doi: dx.doi.org/10.2169/internalmedicine.0612-22
10. Satoshi Dote, ..., Mafumi Miyake, ..., Yuka Kobayashi.
Impact of prior bevacizumab therapy on the incidence of ramucirumab-induced proteinuria in colorectal cancer: a multi-institutional cohort study
Int. J. Clin. Oncol. 28(8):1054–1062 (2023)
11. Kazuhiro Kobayashi, Atsuko Hata, Waki Imoto, Shigeki Kakuno, Wataru Shibata, Koichi Yamada, Hiroshi Kawaguchi, Norihiro Sakurai, Toshikazu Ito, Kazuya Uenoyama, Tamotsu Takahashi, Satoru Ueda, Toshiro Katayama, Masahide Onoue, Hiroshi Kakeya
Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by Citrobacter freundii complex, Enterobacter cloacae complex, and Klebsiella aerogenes
J. Chemother. Released: **2024 Mar 7:1–1** :
<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/1120009X.2024.2323326>
12. Kazuya Uenoyama, Masahide Onoue, Toshiro Katayama, Katsuya Makiyama, Hiroshi Yamamoto, Mari Takagi, Kazuhiko Omoto, and Yoshiyuki Rikitake

Administration of Immune Checkpoint Inhibitors to Patients on Warfarin May
Elevate PT-INR
YAKUGAKU ZASSHI 145, 71-78 (2025)

和文（査読あり）

1. 高橋克之, 尾上雅英, 福土将秀, 池見泰明, 小林政彦, 深津祥央, 矢野育子, 永山勝也, 松原和夫
胆道がんに対するゲムシタビン+シスプラチン療法の有害反応解析と治療継続に関する影響因子の検討
日本病院薬剤師会雑誌 49: 1305-1309 (2013)
2. 杉本充弘, 米澤 淳, 蓼原昌美, 森田洋亮, 吉田優子, 尾上雅英, 大村友博, 萱野勇一郎, 深津祥央, 矢野育子, 松原和夫
プロトコルに基づいた薬物治療管理の実践～病棟専任薬剤師が参画したチーム医療による持参薬管理～
医療薬学 40: 297-303 (2014)
3. 吉留実慧子, 三宅麻文, 松山怜奈, 楠本知代, 岩井惇子, 西山啓介, 小林和博, 伊藤俊和, 近藤 篤, 上田 覚, 石川弘子, 河原宏之, 尾上雅英
保険薬局による電話連絡とトレーシングレポートを利用した経口抗がん剤服用外来患者に対する情報提供方法の確立
医療薬学 42: 476-482 (2016)
4. 小林和博, 上ノ山和弥, 伊藤俊和, 高橋有, 近藤篤, 近谷仁志, 石川弘子, 河原宏之, 尾上雅英
散薬調剤ロボット導入による円滑な業務への取り組み
日本病院薬剤師会雑誌 55: 402-408 (2019)
5. 伊藤俊和, 高橋有, 上田覚, 尾上雅英
バンコマイシンの血中濃度モニタリングにより目標血中濃度に到達できた超低出生体重児 1 例
TDM 研究 36(3):125-129 (2019)
6. 近藤篤, 上ノ山和弥, 宇佐美友佳子, 小林和博, 三宅麻文, 石川弘子, 河原宏之, 北野俊行, 尾上雅英
悪性リンパ腫患者に対するリツキシマブ先行バイオ医薬品とバイオ後続品の Infusion Reaction 発現率の比較
日本病院薬剤師会雑誌 55:1304-1309 (2019)
7. 大野恵一, 村田龍宣, 近藤 篤, 尾上雅英, 松本公佑, 渡邊裕之, 星田唯史, 眞下恵次, 平 大樹, 角本幹夫, 菅野清彦, 本多伸二

アブラキサン®再溶解時間に対する側孔型プラスチック製注射針の有用性に関する検討
医療薬学 46:367-372 (2020)

8. 小林 和博, 上ノ山 和弥, 伊藤 俊和, 三宅 麻文, 中川 俊作, 山内 淳嗣, 八隅 秀二郎, 尾上 雅英
維持血液透析中の食道癌に対するフルオロウラシルとシスプラチン併用療法により高アンモニア血症を生じた症例
医療薬学 46:600-605 (2020)
9. 山田智之, 行本拓史, 村井千恵, 吉野秀紀, 竹内祐介, 角谷龍哉, 安井友佳子, 眞継賢一, 上田 覚, 石坂敏彦, 関雅文, 西原雅美, 勝間田敬弘
抗菌化学療法研究会”大阪抗菌薬倶楽部(大阪 ABC)”による抗菌薬適正使用の教育効果に関するアンケート調査研究
日本病院薬剤師会雑誌 56:553-559 (2020)
10. 上ノ山和弥, 小林和博, 伊藤俊和, 三宅麻文, 中多陽子, 渡邊幸太郎, 岩野光佑, 八隅秀二郎, 尾上雅英
mFOLF0X6 療法中に来した高アンモニア血症を XELOX 療法へ変更することで回避できた DPD 遺伝子多型を伴う大腸癌の 1 症例
日本病院薬剤師会雑誌 57:749-756 (2021)
11. 高橋 有, 小林和博, 上田 覚, 伊藤俊和, 尾上雅英
白内障手術後における経口第三世代セファロスポリン系薬の予防的投与中止への取り組みと中止に伴う影響について
日本病院薬剤師会雑誌 57:940-944 (2021)

***日本病院薬剤師会 令和 4 年度学術奨励賞受賞**

12. 上田 覚, 岡田麻佑, 伊藤俊和, 小林和博, 高橋 有, 丸毛 聡, 羽田敦子, 片山 俊郎, 尾上雅英
基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ産生大腸菌に起因する尿路感染症に対するセフメタゾールの投与回数の違いによる有効性の比較検討
日本病院薬剤師会雑誌 58:167-172 (2022)
13. 北田徳昭, 大村友博, 尾上雅英, 佐藤真由美, 柴田ゆうか, 堀内賢一, 宮崎俊明
令和 3 年度学術委員会学術第 2 小委員会報告 入退院支援における薬学的介入と患者アウトカムに係る研究
日本病院薬剤師会雑誌 58(10), 1220-1221 (2022)
14. 三宅健文, 冢瀬 諒, 上田 覚, 北原隆志, 前田真之, 眞継賢一, 村木優一
令和 3 年度学術委員会学術第 3 小委員会報告

抗菌薬の適正使用にかかわる薬剤師の現状と課題解決に向けた研究

日本病院薬剤師会雑誌 58(10), 1220-1221 (2022)

15. 坂口達馬、梶山徹、三宅麻文、片山俊郎. ヒドロモルフォン持続皮下投与タイトレーション法のがん疼痛に対する効果と安全性に関する後方視的研究.

2022.04 Palliative Care Research. 17(2): 43-49 10.2512/jspm.17.43

16. 北田徳昭, 大村友博, 尾上雅英, 佐藤真由美, 柴田ゆうか, 堀内賢一, 宮崎俊明

退院支援関連業務への介入とアウトカム評価ー日本病院薬剤師会令和3年度学術第2小委員会アンケートからー 日本病院薬剤師会雑誌 59(4), 401-407 (2023)

17. 三宅健文、冢瀬 諒、上田 覚、北原隆志、前田真之、眞継賢一、村木優一

令和4年度学術委員会学術第1小委員会報告（最終報告）

抗菌薬の適正使用にかかわる薬剤師の現状と課題解決に向けた研究

日本病院薬剤師会雑誌 59(10), 1144-1148 (2023)

18. 北田徳昭, 大村友博, 尾上雅英, 佐藤真由美, 柴田ゆうか, 堀内賢一, 宮崎俊明

退院支援関連業務への介入とアウトカム評価ー日本病院薬剤師会令和3年度学術第2小委員会アンケートからー

日本病院薬剤師会雑誌 59(4), 401-407 (2023)

19. 三宅健文、冢瀬 諒、上田 覚、北原隆志、前田真之、眞継賢一、村木優一

令和4年度学術委員会学術第1小委員会報告

抗菌薬の適正使用にかかわる薬剤師の現状と課題解決に向けた研究（最終報告）

日本病院薬剤師会雑誌 59(10), 1144-1148 (2023)

20. 尾上雅英

実務家教員と病院実習を行っている病院の立場から

薬学教育 2024年8巻 <https://doi.org/10.24489/jjphe.2024-001>

21. 谷口麻由加, 伊藤俊和, 樋口壽宏, 尾上雅英

妊娠・出産によりラモトリギンの血中濃度が変動したてんかん合併妊婦3例

日本病院薬剤師会雑誌 60(5), 485-489 (2024)

22. 河野正憲, 伊藤俊和, 尾上雅英

院内フォーミュラリ導入による院内・院外処方への影響

日本病院薬剤師会雑誌 60(6), 604-608 (2024)

23. 安倍さつき・岡田麻佑・尾上雅英

「薬剤師による手術・検査・処置前の休薬指示に関するプロトコル」体制構築と有用性評価

日本病院薬剤師会雑誌 60(9), 1006-1011 (2024)

総説・記事・その他

1. 山下涼子、国正淳一 水なし服用でOK！国内初の経口デスモプレシン製剤
エキスパートナース 29(6) : 4, 2013
2. 山下涼子、尾上雅英 テストステロンを速やかに抑制し持続する新規の前立腺癌治療薬
エキスパートナース 29(7) : 5, 2013
3. 山下涼子、尾上雅英 「見る」「聞く」「感じる」1日1回吸入の抗コリンCOPD治療薬
エキスパートナース 29(8) : 6, 2013
4. 山下涼子、尾上雅英 多剤耐性菌による感染症対策に国内初のグリシルサイクリン系抗菌薬
エキスパートナース 29(9) : 7, 2013.
5. 逸見理代、尾上雅英. パーキンソン病とむずむず脚症候群に世界初の“貼付剤”. エキスパートナース. 29(10) : 7, 2013.
6. 逸見理代、尾上雅英. 半年に1回の投与で“効く”骨粗鬆症治療薬. エキスパートナース. 29(11) : 7, 2013.
7. 逸見理代、尾上雅英. 治療切除不能な大腸がんにも有効な新しいタイプの経口薬. エキスパートナース. 29(12) : 7, 2013.
8. 逸見理代、尾上雅英. 消化管運動を改善する、世界初の機能性ディスペプシア治療薬. エキスパートナース. 29(13) : 7, 2013.
9. 伊藤俊和、尾上雅英. 薬効の“切れ間”を少なくするパーキンソン病治療薬. エキスパートナース. 29(15) : 7, 2013.
10. 伊藤俊和、尾上雅英. 従来の抗がん薬と併用できる、新しい分子標的薬. エキスパートナース. 30(1) : 7, 2014.
11. 伊藤俊和、尾上雅英. 基礎インスリンと併用できる唯一のGLP-1受容体作動薬. エキスパートナース. 30(2) : 7, 2014.
12. 伊藤俊和、尾上雅英. 強オピオイドの1つであるフェンタニル、レスキュー薬としての初の舌下錠. エキスパートナース. 30(3) : 7, 2014.

13. 上田 寛 ウイルス性感染症に用いるクスリ～抗ウイルス薬（インフルエンザ・ヘルペス）/ワクチン（インフルエンザ・肺炎球菌・B 型肝炎）～
透析スタッフ 2(1): 76-85, 2014.
14. 三井克巳 病院薬剤師は吸入指導にどう関わる? 月刊薬事 56: 358-364, 2014.
15. 井戸雅子 これだけは押さえておきたい吸入指導のポイント
月刊薬事 56: 346-350, 2014.
16. 尾上雅英 春季随想 週刊薬事新報 2833: 423, 2014.
17. 尾上雅英 「病棟薬剤業務の意義とこれからの病院薬剤部、薬剤師を語る」
東和コミュニケーションプラザ No. 31 1-8 東和薬品株式会社
18. 三井克巳 「喘息疾患の治療の啓発用資材」アステラス製薬
19. 尾上雅英 「平成 26 年度薬-薬連携推進のための研修会 認知症地域医療における薬薬連携 薬剤師の役割と貢献」 大阪府薬剤師会雑誌 66(3): 5-6, 2015.
20. 尾上雅英 「患者が安心して薬物療法を受けるために ～やれることから取り組み、一步一步前進」 大阪府薬剤師会雑誌 66(5): 5, 2015.
21. 高橋 有、上ノ山和弥、三井克己、尾上雅英 「手術部における薬剤師業務」
薬事新報 2891: 557-560, 2015.
22. 上田 寛 「薬剤性腎障害を早期に発見するために必要な検査」
処方監査や疑義照会で検査値を使いこなす・第 13 回
調剤と情報 75-81, Vo. 21 No. 12 2015
23. 尾上雅英 分科会 2 くすりの理解を臨床に活かす
大阪府薬雑誌 68(1): 20-21, 2017.
24. 尾上雅英 当院におけるトレーシングレポートの運用について
週刊薬事新報 3019: 1203-1207, 2017.
25. 尾上雅英 近畿薬剤師合同学術大会 2018 報告
大阪府薬剤師会雑誌 69(4): 13-14, 2018.
26. 尾上雅英 大阪の“うまいもん” 東京都病院薬剤師会雑誌 67(6): 331, 2018.
27. 尾上雅英 平成 30 年度 薬 - 薬連携推進のための研修会「薬を透して患者をみる! 薬局薬剤師と病院薬剤師が協力して適正な処方提案へつなげるために」
大阪府薬剤師会雑誌 69(6): 92, 2019.
28. 河野正憲 新入局薬剤師研修会に参加して O. H. P. NEWS 62(2): 15, 2020.
29. 尾上雅英 「薬剤部一同がやりがいを持ち、共に成長できる」組織を目指して
日本病院薬剤師会雑誌 56: 228-230 2020.
30. 尾上雅英 BOOK Review 月間薬事 62: 169 2020.
31. 尾上雅英 市販の痛み止めや風邪薬の正しい選び方・飲み方。処方薬との使い分けも
eo 健康 https://eonet.jp/health/article/_4104215.html
32. 尾上雅英 Mohs ペーストの作り方 J Visual Dermatology 19(10): 1006-1997, 2020.

33. 高橋 有 day3: 風邪に対する抗菌薬投与は肺炎をどのくらい予防するか
day4: 「うがい」の習慣は風邪の予防にどのくらい役に立つか
「1日1論文、30日で、薬剤師としてレベルアップ! 医学論文の活かし方」
P19, P28 編著: 児島悠史、上田昌宏 金芳堂
34. 尾上雅英 飲み込めるから、水を使わず薬を飲んでいる。糖尿病ケア+ 96-97 2022
35. 上田 覚、尾上雅英 加齢のせいか薬が飲み込みにくくなり、困っている。糖尿病ケア+ 98-100 2022
36. 上ノ山和弥 15 高尿酸血症・痛風 薬剤師のための薬物療法問題集 P120-125 2022
37. 上ノ山和弥 23 脳血管疾患 薬剤師のための栄養療法管理マニュアル P277-285 2023
38. 尾上雅英 令和5年度 地域フォーミュラに関する研修会 大阪府薬剤師会雑誌 74(12) 23-25 2023.
39. 尾上雅英 第26回近畿薬剤師学術大会 分科会3「薬剤師としての薬剤総合評価」 大阪府薬剤師会雑誌 76(1): 13 2025.